

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
6 年

5月27日(火)1校時

社会「イースター島にはなぜ森林がないのか③」

本時のねらい

◎筆者がどのように論を進めているのかを考えることができる。①

本時のこだわり！！

モアイ像から読みを広げ、深める

・現代でも解明されていない「モアイ像」に迫る。一体何なんだ！？モアイ像って…

学習活動	指導・支援（○） 評価（☆）
1. 前時の振り返りを紹介する	○モアイ像製作について疑問に思っているものを取り上げる ○モアイ像を作ったことによって崩壊したなど
2. モアイ像製作をしなければ、文明は崩壊しなかったのか？	○事実と結果に基づいて考えると「崩壊の原因はモアイ像製作だ」となる → 現代人としての考えである ○何のためにモアイ像を製作したのかが知りたい！
①モアイ像って何なんだ？（知りたい）	
3. モアイ像について資料から考える	○本文にある情報と資料を整理していく ○高さ、重さ ○彫刻 ○石切り場 ○火山岩 ○のみ
4. 森林破壊との関連性は？ 「高度な技術をほこる巨石文化」	○運搬方法やルート確保のために多くの木を使用したのではないかなど想像を広げていく ○森林を切り開かないと十数キロ離れたところまで運べない ○そんな遠くまで運ぶ理由ってなんだ？ ○多くの人々が関わっていたはずだ ○文化ってことは、代々伝わっていった、後継者もいた！？
②モアイ像は何のために作られた？（考えたい）	
5. 当時の人々の考えや思いに迫る 「イースター島で暮らしていた人々は、どうしてモアイ像を製作したのか？」	○苦労、伝統、祖先…キーワードを基に話し合う ○きっとつくりたいとならない理由がある！ ○祖先を敬うって…もしかしたら「お墓」なんじゃ…
6. モアイ像の必要性についてまとめる （伝えたい）	○当時の人々にとってのモアイ像の価値を引き出したい ○モアイ像は安心して暮らしている感謝を表すためになくはないものだった。なぜなら、今の暮らしを守ってくれているのは祖先が築いた文化だからだ。祖先を敬うことは今の時代にも通ずることである。感謝と礼節を重んじたモアイ像は大切な文化になっていったのではないかな。
7. 振り返り	○モアイ像・文化・伝統などについて考えたことや思ったことを書く。 ★目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりできる C(1)ウ （発言・ノート）